

令和6年版環境白書 (トピックス)



脱炭素社会の構築

温室効果ガス排出削減に積極的に取り組む事業者の認証制度を創設



中小企業等の脱炭素経営への転換を図るため、「温室効果ガス排出削減計画書制度」に自主的に参画し積極的な削減に取り組む事業者を静岡県が認証する制度を、令和5年6月に創設しました。



認証書交付式の様子

令和5年10月27日、制度開始後初めての認証者となる事業者8社に対する認証書交付式を行いました。交付式には、認証事業者に加え、事業者を支援した金融機関5行からも関係者が出席し、県くらし・環境部長が事業者に対し認証書を手渡しました。

県では、一層多くの事業者が「温室効果ガス排出削減計画書制度」に参画し、脱炭素への取組を進めていただけるよう、今後も随時認証を行っていきます。

静岡県住まいの文化賞に「省エネ住宅賞」を新設し1作品を表彰しました！



静岡県住宅振興協議会では、住まい手と設計者、施工者の協調で実現した住まいの空間とその住みこなしを表彰する、「静岡県住まいの文化賞」の取組を実施しています。



受賞作品外観



受賞作品（大きな庇）

第28回（令和4年度～令和5年度）は、脱炭素社会の実現に向けて省エネ性能に優れた住宅を普及していくため「省エネ住宅賞」を新たに創設して実施し、1作品（富士市）を選定しました。

この住宅は、全館空調を採用した高気密高断熱の住まいでありながら、空調設備に頼るだけでなく、南面の庇を大きく取り、夏の日射遮へいと冬の日射取得に配慮した点が評価されました。

県では、この取組を通じて、省エネ住宅の普及を図っていきます。

ゼロカーボンシティいわたロゴマークを作成



磐田市では、ゼロカーボンシティ実現に向けて事業者や市民と行政がともに取り組むためのシンボルとしてロゴマークを作成しました。静岡いわたPR大使の鈴木利幸氏がデザインし、市内小中学生による投票で決定しました。

ロゴマークは、広報紙やホームページ、動画や名刺などの市の広報媒体で使用するほか、本取組に賛同いただいた市内事業者に提供する等PRに活用しています。



ロゴマーク



脱炭素社会の構築

植物素材で循環経済の未来をつくる～ふじのくにCNFプロジェクト～



静岡県では、植物由来で環境に優しいCNF（セルロースナノファイバー）などのセルロース素材を社会実装するため、全国に先駆けて積極的な取組を進めています。

令和5年度には、ふじさんめっせ（富士市）で植物由来素材の世界最大級の展示会「ふじのくにセルロース循環経済国際展示会」を開催するとともに、欧米や東アジアの著名な研究者や国内大手企業を招いて国際シンポジウムも開催しました。

身近な食品や日用品から輸送機器部品まで、植物素材（セルロース素材）を活用した様々な製品開発を更に加速させ、本県が世界的な拠点となるよう、努めています。



ふじのくにセルロース循環経済国際展示会
(ナノセルロースヴィークルの展示:環境省)



ふじのくにセルロース循環経済国際シンポジウム

県内初！燃料電池バスの導入



燃料電池バスは、水素を燃料とし、走行中に二酸化炭素を排出しないという優れた環境性能を有するだけでなく、騒音や振動が少なく快適な乗り心地を特長とするバスです。

静岡県は、県内での燃料電池バスの導入拡大を目指し、導入費用の助成を行っています。令和5年度には、静岡鉄道グループのバス会社「しずてつジャストライン株式会社」（静岡市葵区）が、静岡市内の路線バスとして、県内で初めて燃料電池バスを2台導入しました。

燃料電池バスの普及を進めることで、移動手段のカーボンニュートラル化を推進するとともに、県民の皆様の水素エネルギーに対する理解の促進を図っています。



出発式典の様子



燃料電池バスの車両
(写真提供：しずてつジャストライン株式会社)